

宮城県小牛田農林高等学校 [全日制課程 (農業技術科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県小牛田農林高等学校は、「自律，進取，至誠」を校訓とし，系統的なキャリア教育の推進と個々の生徒に応じた支援の充実を通して，健全な社会の建設に創造的に貢献する人材を育成します。また，スポーツや文化活動，ボランティア活動等により，地域との交流を推進し，互いに顔の見える連携を深め，地域社会に信頼され，必要とされる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

○栽培・飼育・農業土木に関する時代に即した知識と技術を習得させ，主体的な研究活動をとおして科学的思考力・表現力と課題解決力を養い，持続可能な農業の発展を図り，創造的で実践的な資質・能力を育成します。

〈農業科学コース〉農作物の栽培や家畜の飼育に関する知識や技術を習得し，職業人として必要な能力と態度を育成します。

〈農業土木コース〉土地改良，農地の保全，農村計画に関する知識や技術を習得し，農業土木に関わる業務に従事するために必要な能力と態度を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

○普通科目と専門科目の双方をバランスよく学びます。

→普通科目では，基礎的学力を養い，専門科目ではそれぞれの分野に必要な能力や態度を育成します。

○少人数指導の授業を設定し，個々人のつまずきに対応した学びを実現します。

→理解度の差が大きい教科を中心に少人数指導を実施しています。

○本校の伝統をもとに，地域と連携しながらプロジェクト学習の充実を図ります。

→科学的思考力・表現力と課題解決力の向上に努めます。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

〈農業科学コース〉

○将来農業に関する職業に就くことを希望し，就業に必要な基礎的学力とその実現に向けた計画を有する生徒

○基本的生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力する生徒

○ボランティアや部活動等，校内外での活動で優れた能力を発揮し，入学後も継続して活動する意欲ある生徒

〈農業土木コース〉

○将来農業土木の分野に従事しようとする意欲と，ものづくりに対する興味・関心を持ち，その実現に必要な基礎的学力を有する生徒

○基本的生活習慣が身に付いており，豊かな人間性を磨くために努力する生徒

○部活動，校外での活動で優れた能力を発揮し，入学後も継続して活動する意欲ある生徒

学校名	宮城県小牛田農林高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	農業技術科（農業科学コース）	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業技術科（農業土木コース）、総合学科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	890点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	600点
		3 面接 75点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)高校生活への抱負 (3)その他 4 観点:(1)態度 20点 (2)表現力等 55点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

学校名	宮城県小牛田農林高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	農業技術科（農業土木コース）	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業技術科（農業科学コース）、総合学科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	5 : 5	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	890点
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	600点
	3 面接 75点 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1) 志望動機 (2) 高校生活への抱負 (3) その他 4 観点：(1) 態度 20点 (2) 表現力等 55点		
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県小牛田農林高等学校 [全日制課程 (総合学科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県小牛田農林高等学校は、「自律，進取，至誠」を校訓とし，系統的なキャリア教育の推進と個々の生徒に応じた支援の充実を通して，健全な社会の建設に創造的に貢献する人材を育成します。また，スポーツや文化活動，ボランティア活動等により，地域との交流を推進し，互いに顔の見える連携を深め，地域社会に信頼され，必要とされる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 現代の世界や社会で起きている諸問題を的確に捉え，それらを解決するのに必要な知識・技能を身に付けさせます。
- 実社会や実生活と自己の在り方・生き方との関わりから問いを見だし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができる力を育成します。
- 互いの良さを認め合いながら新たな価値を創造し，より良い社会の担い手として必要な知識，技能及び態度を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 専門教科も含めた多様な選択科目を設定し，個々人に適する学びを実現します。
→個々の進路や興味・関心をもとに学習を進め，多様な個性・能力の伸長を図り，希望する進路の実現を目指します。
- 各教科の学びを現代社会で起きている諸問題と結びつける等，主体的に課題を探り，その解決に進んで取り組む人材を育成します。
→SDG s の視点から各教科の学びを現代の諸問題と結びつけ，世界的な広い視野から捉える力を養います。また，総合的な探究の時間等において，教科等横断的な学びを進め，問いを立て解決策を構想します。
- 本校の伝統や地域資源を生かすことで，特色ある学びを進めます。
→創立 130 年を超える伝統と，学校周辺に広がる世界農業遺産等の豊かな地域資源を生かし，地域に根ざした体験的な学びを推進します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 基本的な生活習慣を身に付け，何事にも真剣に取り組み，日々の授業を大切に
生徒
- 本校入学後も，自己の進路実現に向けて，諸活動に積極的に取り組む生徒
- 部活動や特別活動等で優れた能力や顕著な実績を残し，入学後も継続して活動する意欲のある生徒

学校名	宮城県小牛田農林高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	総合学科	募集定員	120人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	農業技術科（農業科学コース）、農業技術科（農業土木コース）	
	共通選抜		
	募集人数	84人（募集定員の 70 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	36人（募集定員の 30 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する36人の150%の範囲に含まれる者（54人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 600点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 75点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望動機 (2)高校生活への抱負 (3)その他 4 観点:(1)態度 20点 (2)表現力等 55点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	